

## 平成27年度事業報告

東日本大震災から早いもので5年がたち未だに完全に復旧が進んでいない状況で、被災者の生活も仮設住宅で今なお不自由を余儀なくされ、地域の復興も立ち遅れている現状にあり一日も早い復旧、復興が求められている。

本年度センターの事業運営は公益目的事業を柱として、真に「地域に根差し町民から信頼されるシルバー人材センター」を目指して事業に取り組み、地域に密着した事業の開発や提供にも積極的に関わった。特に就業先でのお客様への言葉遣い、挨拶・態度等に注意を払い仕事に打ち込んで頂くよう指導を図った。そのためか就業先からのクレームも減少した。さらには、機能強化事業の一環として民間・企業の就業拡大や会員加入の促進を図った。

次に、請負事業の拡大や派遣事業への取り組み、そして子育て支援、福祉等生活支援、ワンコインサービス事業等の拡大に取り組んだ。また、独自事業の充実と拡大及びシルバー人材センターの特性を生かし、地域に貢献できる子供達の防犯活動や交通安全指導等のボランティア活動をはじめ各公民館の清掃活動を行い地域社会に貢献した。就業中の災害発生状況は重篤事故0件で、当センターでの事故件数は10件と減少、安全指導に取り組んだ成果が表れ、全体で昨年よりも大幅に減り事故撲滅に向けた指導の徹底が功を奏した。

事業実績については、受託事業、派遣事業あわせて事業計画より契約高で1,097万円上回った。しかし会員数が470名に対し438名と計画を下回ったので今後とも会員増強に努め、契約高と深く関係が出てくるので次年度もしっかりと取り組んで行くものとする。就業延人員も48,436人日と計画よりはるかに実績を上回った。

11月から3月まで、除草・植木班会員の仕事がなくなるこの時期に就業が出来るような仕事の確保が必要になるので今後とも就業開拓を積極的に進める。

今後も、公益法人として収支相償を基本に事業運営を強化し、法令順守の徹底と安全適正就業を引き続き推進すると共に仕事の質の向上に引き続き努めて行く。また、ガバナンスの強化、情報公開、個人情報(マイナンバー等)にも配慮して諸施策や課題の実施に当たっては会員、役職員一丸となって取り組んで行くものとする。

## 1. 就業開拓提供事業

多くの会員に就業機会を提供するために、高齢者の知識、技能、経験を把握分析し、法令遵守を念頭におきながら、地域のニーズに対応する仕事の受注を目指すため、以下のことを実施した。

- ア. 就業開拓員によるチラシの配布ローラー作戦(個人就業・会員募集)
- イ. 就業開拓員による企業重点就業開拓(企業訪問)の実地
- ウ. 会員等による就業開拓の展開

## 2. 普及啓発事業

地域社会に対してシルバー事業への理解と高齢者加入促進を図るため、以下のことを実施した。

- ア. 普及啓発月間における活動
  - ・「十三夜・魂のふるさとまつり」におけるPR
- イ. チラシ配布
- ウ. 会報の発行(年3回)
- エ. ホームページによる情報公開
- オ. シルバーフェアによるPR
- カ. 町広報誌に会員募集を掲載(毎月)
- キ. 第3回「とみやっこたなばたかざり」への参加
- ク. 接遇講習会の開催

## 3. 調査研究

会員の就業率の向上、発注者に対するサービス内容の改善・充実、さらには新たな就業等の活動機会、開拓方策を研究実施するために行っており以下のことを実施した。

- ア. 会員への意識調査アンケートを実地
- イ. お客様満足度調査(発注者に対するアンケート調査)

## 4. 相談事業

一般高齢者及び会員を対象に、以下のことを実施し、就業等に関する情報を提供した。

- ア. 入会説明会 毎月1回
- イ. 就業相談 随時
- ウ. 育児相談 随時
- エ. 会員対象に面談を実施 随時
- オ. 出張入会説明会の実施

## 5. 安全・適正就業の推進

品質の向上と確保を図り、事故ゼロ・クレームゼロを目指し、顧客の信頼向上に努めた。毎月1日と15日を「安全の日」と定め安全意識の高揚を図り、また各就業現場において危険予知活動を行い、事故を未然に防ぐよう努めた。

ア. 安全・適正就業委員会の実施

イ. 安全パトロールの実施

ウ. 安全・適正就業推進大会の実施

エ. 安全標語の募集及び表彰

オ. 適正就業の推進(派遣事業の拡大強化推進)

カ. 緊急連絡カードの活用

キ. 会員に対し事故防止の意識の高揚を図る(講習会の開催)

## 6. 会員増強の促進

事業計画の目標値をもとに、会員の加入促進を図った。

ア. 入会説明会の実施(毎月1回)

イ. 町広報誌への会員募集の記載

ウ. 女性部会「ハナミズキ」の定期的開催による女性会員の拡充

エ. 賛助会員・特別会員の奨励

オ. 移動入会説明会の実施

カ. 開拓員によるチラシ配布(会員募集、仕事のPR)

## 7. ワークプラザ施設整備の具体的推進

拠点施設が地域の活性化策に貢献できる施設となるよう推進依頼した。

ア. 富谷町と富谷町議会へワークプラザ建設要望書を提出

イ. 施設整備調査検討委員会で調査・検討を今後も続けてゆく

ウ. 町及び関係先との打合せ・具体的内容の提案

## 8. 福祉・家事援助サービスの推進

町が推進する子育て事業や、高齢者世帯の増加が進む中、地域住民の福祉ニーズに応えられるよう、福祉家事援助サービスに対応できる会員の加入促進と、現会員スキルアップのための研修会を開催した。

ア. 育児支援サービス

(ア)子育てサロン「ほっと育(す)く」の継続運営(旧給食センターへ移転)

(イ)一時預かり

(ウ)子育てスキルアップ講習会の実施(講師招聘、外部講習会)

- (エ)「なごみ」移転継続運営
- イ. 家事援助サービス
  - (ア)高齢者への家事援助
- ウ.「ワンコインサービス」の事業展開(富ヶ丘・日吉台・あけの平・東向陽台で実施)

## 9. 社会参加活動の推進

「自主・自立、共働・共助」の精神を高めるためにも、ボランティアや社会参加を通して、地域社会への貢献と連携を深めた。

- ア. 子供達の安全・安心を守る巡回活動(登校、下校時)
- イ.「十三夜・魂のふるさとまつり」へのボランティア参加
- ウ.「シルバーの日」公民館等の清掃作業等の実施
- エ. 商工会主催の「おもしろがら来てけさ in」に後援協力

## 10. 自主防災組織の確立

富谷町と「災害時における応援協力に関する協定」を締結により、当センターとして地震等有事が発生した場合の対応を円滑に行えるよう、自主防災組織を確立し、災害備品等の整備、防災訓練等、富谷町当局と連携して災害等に備える。

## 11. 事業運営の効率化及び財政健全化の推進

事業運営にあたって、業務の効率的運営を図り、また公益目的基準に適合するよう財政の健全化に取り組んだ。

- ア. 不要支出の洗い出し
- イ. 消費節約の励行の取組を図る
- ウ. 会計基準の変更による、税理士の会計指導を実施
- エ. リース事務機器等のランニングコストの洗い出し

○平成 27 年度事業計画と事業実績、達成率

項 目	事業計画	事業実績	達成率
正 会 員	470 人	438 人	93.2%
特別会員	5 人	2 人	40.0%
賛助会員	11 人	12 人	109.1%
受注件数	1,400 件	1,579 件 (内派遣 15 件)	112.8%
受注契約金額	220,000 千円	230,970 千円	105.0%
(受託事業)	(163,450 千円)	(169,674 千円)	(103.8%)
(独自事業)	(550 千円)	(473 千円)	(86.0%)
(労働者派遣事業)	(56,000 千円)	(60,823 千円)	(108.6%)
就業延人員	43,000 人日	48,436 人日	112.6%
就 業 率	90%	95.0%	105.6%
粗 入 会 率	3.90%	3.53%	90.5%